

令和元年度事業計画

平成31年4月1日～令和2年3月31日

1. 基本方針

国内の急速な少子高齢化の進行に伴い、これによる日本経済に与える影響や雇用情勢の改善のための種々の法制度整備が進められる中で、私たちシルバー人材センターの社会的役割の重要性が一層高まってきています。また入間市でも65歳以上の高齢者率が28.4%に達しており、市では「高齢者が可能な限り住み慣れた地域で生きがいをもって生活できる環境整備された明るい活力ある地域社会を目指す」ことを政策目標の一つに掲げています。私たちシルバー人材センターは、これらの状況を十分認識して以下の重点目標を掲げ、目標達成のためこれらテーマの推進リーダーとして担当理事が責任をもち、全会員と共に一丸となって活動を推進してまいります。

2. 事業目標

(1) 事業実績	6億9千6百万円	(年度末)
(2) 会員数	1,380人	(年度末)
(3) 就業延人員	13,300人	(年度末)
(4) 事故件数	0件	(年度末)

3. 事業実施計画

(1) 就業機会拡大活動の推進 (担当：常務理事)

近年の私どもの業績推移は、派遣事業の推進活動強化等より事業収入は増加しており、またワークシェアリングの積極的な取り組みにより就業延べ人員数は確実に増加傾向を示しています。これらの実績を更に増進させる為、これまで請負契約では困難とされていた事業分野の積極的な受注拡大活動を展開し、その成果享受と共に未就業会員への働き掛けを通じて就業延人員の拡大を目指してまいります。

(2) 会員増強活動 (担当：会員募集委員会)

会員数は、平成23年度に1,437名のピークを境にして低下傾向が続き、平成26年度に底を打ちましたが、会員募集のたゆみない活動により、翌年度から増加傾向に転じました。日本政府の「シルバー人材センターの業務拡大等を盛り込んだ日本再興戦略」等の影響で高齢者の働く意欲は確実に上向いていると考えられます。また、全国シルバー人材センター事業協会も日本政府の政策発表や高齢者の就労志向に対応し、「シルバー会員100万人達成計画」を呼び掛けております。この計画をより一層堅実にするため、私どもの理念が市民に深く浸透することに努め、会員増強活動に邁進してまいります。

(3) 安全・適正就業の推進 (担当：安全・適正就業委員会)

企業に対する65歳までの雇用義務付けに伴い、会員全体の平均年齢が上昇しており、就業中及び就業途上時の事故の発生増加が懸念されるため、就業先の巡回パトロールや安全講習会等を通じて、事故件数ゼロへの取り組みがより重要となります。このため、安全な就業環境の確保と安全の意識を高めるため、実効性のある安全就業活動を推進してまいります。また適正就業の徹底は、極めて重要な事項であることを強く認識し、既存の就業先及び新規受注時の適正就業形態の徹底を図ってまいります。

(4) 広報活動の活性化（担当：広報委員会）

会員向けには、広報誌「いるま シルバーだより」を通じて、センターの活動状況や方針、会員間の情報を共有することにより会員としての意義を深め、広報誌のより活性化した内容に努めます。また、ホームページは一般の多くの方も閲覧できるため、センターの広報としての役割は極めて大きく有用な情報発信ツールとして魅力ある内容にしてまいります。

(5) 地域班活動の充実（担当：常務理事）

地域班活動は、やり甲斐と満足度を高めるため、センターへの協力活動の他に自主活動及び地域貢献活動の2つを柱として活発化してまいります。

(6) 普及啓発活動の推進（担当：総務委員会）

地域に密着した事業展開をPRするため、センター主催のイベント開催及び市内のイベントに積極的に参加し、普及啓発活動を充実させ、センターの知名度やイメージアップを図ってまいります。

(7) 第一次中期基本計画の実施（担当：常務理事）

前年度に策定した中期基本計画実施の初年度にあたり、その行動計画を具体的な実行に移してまいります。